

12番の歌 エホバは賛美を受けるにふさわしい方

私たちを救うためにエホバがしてくれたこと

「神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛した」。ヨハネ 3:16

ポイント：エホバは、私たちが罪と闘うことができるよう^にどのように助けてくださっていますか。私たちが罪から自由になってずっと生きられるように、どんなことをしてくださったでしょうか。

1-2. (ア) 罪とは何ですか。どうすれば罪から自由になれますか。（「語句の説明」も参照。）(イ) この記事と今月号の「ものの塔」のほかの記事ではどんなことを考えますか。（この号の「読者の皆さんへ」①私たちを愛しているエホバは、私たちが罪と闘えるようにどんなことをしてくださいましたか。②悔い改めるためには何をする必要がありますか。エホバはそうできるようどのように助けてくださいますか。③コリストの会衆は、罪を悔い改めない人についてどんな指示を受けましたか。④現代の長老たちは、重大な罪を犯した人をどのように助けるとよいでしょうか。⑤罪を悔い改めず会衆から除かれた人に対して、会衆の人たちはどのように愛や憐れみを示し続けることができますか。も参照。）

エホバ神はあなたのこと^をどれほど愛していると思^{います}か。エホバがあなたを罪と死から救うためにしてくれたことを考^{える}と、その点をよく理解できます。罪は自分の力では決して逃れることのできない恐ろしい敵です。*語句の説明：聖書の中で「罪」という言葉は、エホバの道徳基準に沿わない生き方や行動をしてしまうこと、つまり、悪い行いを指すことがあります。また、アダムから受け継いだ不完全で罪深い状態を指すこともあります。私たちは皆、受け継いだ罪のせいで死にます。私たちは誰もが毎日罪を犯します。罪の結果として死ぬことも避けられません。（ロマ 5:12 このような訳で、1人の人によって人類に罪が入り、罪によって死が入り、こうして、全ての人が罪人になったために、死が全ての人に広がったように—）でも、希望があります。エホバに助けてもらうなら、罪から自由になることは可能です。必ず勝利を收めることができます。

2 エホバは、罪深い人間がご自分と友情を築けるよう約6000年にわたって助けてくれています。どうしてでしょうか。私たちを愛しているからです。人類史の初めから人間を愛し、罪と闘えるようにたくさんのこと^をしてくれました。エホバは罪の結果が死であることを知っていますが、私たちに死んでほしくないと思^{っています}。そして、あなたにも生き続けてほしいと思^{っています}。（ロマ 6:23 罪の代償は死ですが、神が与える贈り物は、私たちの主であるキリスト・イエスによる永遠の命なのです）この記事では、次の3つの質問について考えます。（1）エホバは罪を負った人類にどのような希望を与えましたか。（2）罪を負っていた聖書時代の人たちは、どのようにしてエホバから正しいと認められましたか。（3）罪と死から人類を救うためにイエスは何をしましたか。

エホバは罪を負った人類にどのような希望を与えたか

3. 最初の人間アダムとエバはどのようにして罪人になりましたか。

3 エホバは最初の男女を創造した時、幸せになってほしいと思^{っていました}。美しい住まいや結婚という贈り物、素晴らしい仕事を与えました。2人の子孫は全地に広がり、地球をエデンの園のような楽園に変えていくことになっていました。エホバがアダムとエバに与えた命令はたった

1つでした。エホバは、2人が故意にその命令を破って罪を犯すなら死ぬことになると警告しました。私たちはその後どうなったかをよく知っています。ある時、神のことも人間のことも愛していない邪悪な天使が、罪を犯すよう2人を誘惑しました。アダムとエバは愛情深い天のお父さんを信頼するのではなく、誘惑に負けてしまい、罪を犯しました。そしてエホバの言った通りになりました。その日から2人は罪の結果として老いていき、やがて死にました。（創1:28, 29 神は2人を祝福し、こう言った。「子を生み、増えて、地上全体に広がり、地球を管理しなさい。また、海の魚、空を飛ぶ生き物、地上を動くあらゆる生き物を治めなさい」。29 神は言った。「私は、地上にある、種を付ける全ての草木と、種のある果実を付ける全ての木を、あなたたちに食物として与える」；2:8, 9 さらにエホバ神は東方のエデンに庭園を造り、自分が形作った人をそこに置いた。9 エホバ神は、食べられる実を付けるさまざまな美しい木が地面から生えるようにし、庭園の真ん中に命の木を生えさせた。また、善惡の知識の木を生えさせた、16-18 エホバ神は人にこう命じた。「庭園の全ての木の実を満足するまで食べてよい。17 しかし、善惡の知識の木の実は、食べてはならない。それを食べた日にあなたは必ず死ぬからである」。18 その後、エホバ神は言った。「人が独りのままでいるのは良くない。彼を補って助ける人を造ろう」；3:1-6さて、エホバ神が造った野生動物の中で蛇が最も用心深かつた(*利口だった)。蛇が女に言った。「あなたたちは庭園の全ての木の実を食べてはならない、と神が言ったのは本当ですか」。2 女は蛇に言った。「私たちは庭園の木の実を食べてよいのです。3 でも、庭園の真ん中にある木の実について、神は、『食べてはならない。触れてもならない。食べたり触れたりするなら死ぬ』と言いました」。4 蛇は女に言った。「あなたたちは決して死にません。5 その木の実を食べた日に、目が開かれ、あなたたちが神のようになって善惡を知るようになることを神は知っているのです」。6 そこで女がその木を見ると、おいしそうな実が付いていて、魅力的な美しい木に見えた。それで女はその木の実を取って食べ始めた。その後、一緒にいた時に夫にも渡した。夫もそれを食べ始めた、17-19 アダム(m*地の人/人間/人類)にはこう言った。「あなたが妻の言ったことに従い、『食べてはならない』と私が命じた木の実を食べたので、あなたのせいで地面は災いを被った。それではあなたは、地面から食物を得るために生涯ずっと苦労する。18 地面にはいばらとアザミが生え、あなたは野の草木を食べなければならない。19 あなたは額に汗して食物(*パン)を得、やがて地面に戻る。そこから取られたからだ。あなたは土なので土に戻るのである」、24 こうして神は人を追い出し、ケルプたちと、回転し続ける炎の剣とをエデンの園の東に配置して、命の木への道を守らせた；5:5 アダムは930年の生涯を送り、死んだ）

4. エホバが罪を憎み、私たちが罪と闘えるよう助けてくださっているのはどうしてですか。（ローマ8:20, 21）

4 エホバはこうした悲しい出来事を私たちのために聖書に記録してくださいました。そこからエホバが罪をとても憎んでいる理由がよく分かります。罪は私たちをお父さんエホバから引き離し、死へと向かわせます。（イザ59:2 あなたたちは自らの過ちによって神から引き離されたのだ。あなたたちの罪のせいで神は顔を隠したのであり、耳を傾けようとしているのである）だからこそ、反逆した天使であるサタンはアダムとエバに罪を犯させました。そして今でも、罪を犯すよう人々を誘惑し続けています。サタンはエデンの園での作戦は成功したと思ったかもしれません。でも、エホバがどれほど愛情深い方かということを理解していませんでした。エホバはアダムとエバの子孫の将来について思い描いていたことを諦めてしまうのではなく、愛する人間のためにすぐに希望を差し伸べました。（ローマ8:20, 21 創造物はむなしい状態に置かれましたが、自分の意志でそうなったのではなく、神によってそのようにされ、同時に希望を与えられたからです。21 創造物も腐敗への奴隸状態から自由にされ、神の子供の輝かしい自由を得るという希望です(*得るからです)を読む。）エホバはアダムとエバの子孫の中に、ご自分を愛し、罪と闘うために助けを求める人たちが必ずいることを知っていました。それで、私たちを造ってくれたお父さんであるエホバは、罪から自由になってご自分との絆を持てるようにするための道を開いてくれました。では、エホバはどんなことをしてくださったでしょうか

5. エホバは罪深い人類にどんな希望を与えたか。 (創世記 3:15)

5 創世記 3:15 そして私は、あなたと女の間、またあなたの子孫(d*種)と女の子孫(d*種)の間に敵意を置く。彼(c*女)の子孫のことはあなたの頭を碎き、あなたは彼のかかとに傷を負わせる(*を碎く)を読む。エホバがサタンに刑を宣告した時、人類に希望の光が差し込みました。エホバは「子孫」と呼ばれる者が希望の鍵となることを予告しました。この子孫が最終的にサタンを打ち碎き、エデンの出来事から始まった全ての悪いことをなくすことになっていました。 (ヨハ一 3:8 罪を犯し続ける人は悪魔から出ています。悪魔は初めから罪を犯してきたからです。神の子が現れたのは、悪魔の行いを終わらせる(*滅ぼす)ためです) でも、この子孫も途中で苦しみを経験する必要がありました。サタンから傷を負わされ、死ぬことになっていたのです。これ以上にエホバにとってつらいことはなかったでしょう。でもエホバは進んで犠牲を払うことにしました。数え切れないほどの人たちを罪と死から自由にすることができるからです。

罪を負っていた聖書時代の人たちは、どのようにしてエホバから正しいと認められたか

6. アベルやノアなど、忠実にエホバに仕えた人たちは、エホバとの絆を深めるために何をしましたか。

6 エホバは続く数百年の間に、どうすれば罪を負った人間がご自分との絆を深められるかを少しずつ明らかにしていきました。エデンで反逆が起きた後にエホバに信仰を持った最初の人は、アダムとエバの次男であるアベルでした。アベルはエホバを愛する人で、エホバに喜んでもらい、絆を深めたいと思っていたので犠牲を捧げました。羊飼いだったアベルは、自分の若い羊を連れてきてエホバに犠牲として捧げました。「エホバはアベルとその捧げ物を好意的に見」ました。 (創 4:4) 一方、アベルは羊の初子の何匹かを脂肪部分を含めて持ってきた。エホバはアベルとその捧げ物を好意的に見たが、) その後も、エホバはご自分を愛し信頼する人たちが捧げる犠牲を喜びました。ノアが犠牲を捧げた時もそうでした。 (創 8:20, 21 それからノアはエホバのために祭壇を作り、清い動物と清い飛ぶ生き物の幾らかを祭壇に載せ、全焼の捧げ物にした。21 エホバは心地よい(*安らぎの)香りを嗅ぎ始めた。それでエホバは心の中でこう言った。「私は二度と、人がしたことを理由に地面に災いを下したりはしない。人の考え方は子供の時から悪いのである。私は二度と、今回のように全ての生きているものを滅ぼすことはしない」エホバはそのような犠牲を受け入れ、罪を負った人間も正しいと認められてご自分との絆を深めることができるということを示しました。 *エホバは、イエス・キリストが捧げることになっていた犠牲に基づいて、キリスト以前の時代の忠実な人たちの犠牲を受け入れることができました。イエスの犠牲によって罪と死から完全に解放されることが可能になりました。 (ロマ 3:25 神はキリストを、償いのための捧げ物として差し出してくださいました b。キリストの血への信仰によって神と和解できるようにしてくださったのです c。神がキリストを差し出したのは、ご自分が正しかったということを示すためでした。かつて辛抱しつつ、過去に犯された罪を許していたことは、正しかったのです)

7. アブラハムが息子を進んで犠牲にしようとしたことから、私たちはどんなことを学べますか。

7 ある時、エホバは強い信仰を持っていたアブラハムに、息子のイサクを犠牲として捧げるようという極めて難しい指示を与えました。これは、アブラハムにとって最もつらいことだったに違いありません。それでもアブラハムはエホバに従おうとしました。アブラハムがイサクを殺そうとしたその時、エホバはそれを止めました。この出来事から、信仰を持つ全ての人は大切な点を学べます。エホバは、愛する独り子を犠牲として進んで差し出してくださいました。それほど

までに私たち人間のことを愛してくださっているのです（創 22:1-18/2 どうか、あなたの子、あなたが深く愛する一人息子のイサクを連れてモリヤ地方に行き、私が指定する山の上で、彼を捧げ物(*)として捧げてほしい

8. 律法の下で捧げられたたくさんの犠牲はどんなことを示していましたか。（レビ記 4:27-29; 17:11）

8 数百年後にイスラエル国民に与えられた律法では、神の民の罪を償うためにたくさんの犠牲を捧げることが求められました。（レビ記 4:27-29 民の誰かが意図せずに罪を犯し、エホバに禁じられていることを行ったとして有罪になったのであれば、28 あるいは、罪を犯したこと気に付いたのであれば、その人は、犯した罪のための捧げ物として傷のない雌の子ヤギを連れていかなければならない。29 そして罪の捧げ物の頭に手を置き、全焼の捧げ物と同じ場所ではふる；17:11 生き物の命は血の内にあるからであり、私がそれをあなたたちに与え、自分たちのために祭壇で贖罪を行えるようにした。血が、その内にある命によって贖罪を行うからであるを読む。） こうした犠牲は、人類を罪から完全に救うためにより優れた犠牲が必要であることを示していました。預言者たちは聖なる力に導かれて、約束の子孫が苦しんで死ぬことになると説明しました。後に、その子孫は神の特別な子であることが明らかになります。その神の子は犠牲にされる（イザ 53:7 羊のように殺されることになっていました。）（イザ 53:1-12 2 彼は小枝のように、乾き切った地面の中の根のように、人(if*神)の前に生え出る。堂々たる姿はしておらず、輝かしくもない。私たちは彼を見ても、その姿に引き付けられない。3 彼は軽んじられ、人々に避けられた。苦痛を味わうことになって(*理解して)おり、病気をよく知っていた。顔が私たちから隠されているかのようだった(if*人々が顔を背けるような者だった)。彼は軽んじられ、私たちは彼を無視した。4 彼はまさしく私たちの病気を担い、私たちの痛みを負った。しかし私たちは、彼が災厄に遭い、神に打たれて苦しんでいると考えた。5 彼は私たちの違反のために刺し通され、私たちの過ちのために打ち砕かれた。彼が処罰を受けたので私たちに平和がもたらされ、彼の傷のおかげで私たちは癒やされた。） 考えてみてください。エホバは愛する子を犠牲にしてまでも、人類を罪と死から救うと決めたのです。それはあなたを救うためでもあります。

イエスは人類を救うために何をしたか

9. バプテスマを施す人ヨハネはイエスについて何と言いましたか。（ヘブライ 9:22; 10:1-4, 12）

9 1世紀、バプテスマを施す人ヨハネは、ナザレから来たイエスについて「見なさい、人類の罪を取り去る、神の子羊です！」と言いました。（ヨハ 1:29 次の日、ヨハネはイエスがやって来るのを見て、言った。「見なさい、人類の罪を取り去る、神の子羊です！」）この時、以前に予告された子孫がイエスであり、イエスが約束されていた犠牲を差し出すことが明らかになりました。こうして、人類が罪に対して完全に勝利できるという希望が一層はっきりとしたものになりました。（ヘブライ 9:22 二のように、律法によれば、ほとんど全てのものが血によって清められます。血が注ぎ出されなければ、罪が許されることはありません；10:1-4 律法は後に来る良いものの影にすぎず、実体ではありません。ですから、毎年同じ犠牲が捧げられても、神に近づく人が律法(if*人々/c 祭司たちのことかもしれない)によって完全になることは決してありません。2 もし完全になるとすれば、神聖な奉仕をする人は一度清められれば罪の自覚がなくなるので、もう犠牲は捧げられていないはずではないでしょうか。3 ところが逆に、犠牲は毎年捧げられ、罪を思い出させるものとなっています。4 雄牛やヤギの血は罪を取り去ることができないからです、12 しかしキリストは、永遠に罪を取り去る1つの犠牲を捧げて神の右に座り、を読む。）

10. イエスが「罪人を招くために来」たことは、どんなことから分かりますか。

10 イエスは、自分が犯した罪のことでつらい思いをしている人たちに特に注意を向け、弟子になるように勧めました。人類の苦しみの根本原因は罪であることを知っていたからです。それで、

罪人として知られていた男性や女性を進んで助けました。イエスは例えを使ってこう言いました。「健康な人に医者は必要ではなく、病気の人に必要なです。……私は、正しい人ではなく罪人を招くためにきました」。（マタ 9:12, 13）これを聞いてイエスは言った。「健康な人に医者は必要ではなく、病気の人に必要なです。13『私が望むのは憐れみであって、犠牲ではない』ということの意味を、行って学んできなさい。私は、正しい人ではなく罪人を招くためにきました」）イエスはこの言葉の通りに行動しました。罪人として知られていたある女性が自分の涙でイエスの足をぬらして拭いた時、イエスはその人の罪が許されていることを優しく伝えました。（ルカ 7:37-50）すると、その町で罪人として知られる女性が、イエスがその家で食事をして(*食卓で横になつて)いることを知り、白い石(d*雪花石こう)のつぼに入つた香油を持ってきた。38そして、イエスの後ろ、その足元に来て、泣いて涙で彼の足をぬらし始め、髪の毛で拭いていった。また、イエスの足に優しく口づけし、香油を注いだ。39イエスを招いたパリサイ派の人はそれを見て、心の中で言った。「この人が本当に預言者なら、自分に触っているのが誰でどんな女か知っているはずだ。この女は罪人だ」。40それでイエスは言った。「シモン、あなたに言うことがあります」。シモンは言った。「先生、何ででしょうか」。41「2人の人がある人からお金を借りていました。1人は500デナリ、もう1人は50デナリでした。422人が返済できないので、貸した人は2人を寛大に許してやりました。では、どちらの人が彼をより愛するでしょうか」。43シモンは答えた。「多く許してもらった方だと思います」。イエスは言った。「あなたの言う通りです」。44そして女性の方を向きながらシモンに言った。「この女性が見えますか。私が家に入つても、あなたは足を洗う水をくれませんでした。しかし、この女性は涙で私の足をぬらし、髪の毛で拭いてくれました。45あなたは私に口づけしませんでしたが、この女性は、私が入つてきた時から私の足に優しく口づけしてやめませんでした。46あなたは私の頭に油を注ぎませんでしたが、この女性は私の足に香油を注いでくれました。47それで、彼女の罪は多い(*大きい)とはいえて許されています。彼女は多く愛したからです。ところが、わずかしか許されていない人は、わずかしか愛しません」。48そして女性に言った。「あなたの罪は許されています」。49一緒に食卓に着いていた人々は互いに言い始めた。「罪さえ許すこの人は、どういう人なのだろう」。50イエスは女性に言った。「あなたが救われたのは信仰があったからです。安心して暮らしなさい」）また、井戸の所にいたサマリア人の女性が不道徳な生活をしていることを知っていたにもかかわらず、その女性に大切な真理を教えました。（ヨハ 4:7 サマリアの女性が水をくみに来た。イエスは、「水を飲ませてください」と言った、17-19女性は、「夫はいません」と答えた。イエスは言った。「『夫はいません』とあなたは正しく答えました。185人の夫がいましたが、今いるのは夫ではないからです。あなたは本当のことを言いました」。19女性は言った。「旦那さま、あなたは預言者ですね、25, 26女性は言った。「私は、メシアが来ることを知っています。キリストと呼ばれる方です。その方が来たら、全てのことをはっきり知らせてくださいます」。26イエスは言った。「あなたと話している私がそうです」）それだけではありません。イエスは罪がもたらした最悪の結果である死を取り除く力を神から与えられ、男性や女性、大人や子供などを復活させました。（マタ 11:5 目が見えなかった人は見、足が不自由だった人は歩き、重い皮膚病の人は治り、耳が聞こえなかった人は聞き、死人は生き返り、貧しい人には良い知らせが告げられています）

11. 罪深いことを行っていた人たちがイエスのもとに行きたいと思ったのはどうしてですか。

11 罪深いことを行っていた人たちでさえ、イエスのもとに行きたいと思ったのはどうしてでしょうか。思いやり深く気持ちに寄り添ってもらえたからです。イエスと一緒にいるとほっとできました。（ルカ 15:1, 2さて、徴税人や罪人たちが皆、話を聞こうとしてイエスの周りに集まってきた。2パリサイ派の人も律法学者も不平を言い続け、「この男は罪人たちを歓迎して一緒に食事をする」と言った）イエスは自分に信仰を示した人たちを褒め、親切に接しました。（ルカ 19:1-10）イエスはエリコに入り、そこを通っていました。2そこにザアカイという男性がいた。徴税人の長で、裕福だった。3ザアカイはこのイエスがどんな人かを見ようとしていたが、背が低く、人が多かったので見られなかつた。4それでイエスを見るために、先の方に走

つていってエジプトイチジク(*いちじく桑)の木によじ登った。イエスがそこを通ろうとしていたからである。5 イエスはその場所に来た時、見上げて言った。「ザアカイ、急いで下りてきなさい。私は今日あなたの家に必ず行きます」。6 ザアカイは急いで下り、喜んでイエスを客として迎えた。7 これを見た人々は皆、「罪人の家に客として行つた」と不平を言った。8 しかし、ザアカイは立ち上がって主イエスに言った。「主よ、持ち物の半分を貧しい人々に与えますし、脅し取ったものは何でも4倍にして返します」。9 イエスは言った。「今日この家の人们は救われました。この人もアブラハムの子だからです。10 人の子は、迷い出た人を捜して救うために来たのです」) 憐れみ深い天のお父さんにそつくりでした。(ヨハ 14:9 イエスは言った。「こんなに長い間一緒に過ごしてきたのに、フィリポ、あなたはまだ私を知らないのですか。私を見た人は、父をも見たのです。どうして、『父を見せてください』と言うのですか) イエスは、思いやりのある憐れみ深いエホバが人々を愛していて、罪と闘えるよう助けたいと願っていることを、言葉と行いによって示しました。そして、罪深いことをしていた人も生き方を変えてイエスに従いたいと思えるように助けました。(ルカ 5:27, 28 こうしたことの後、イエスは外に出て、レビという徵税人が徵税所に座っているのを見て、「私の弟子になりなさい」と言った。28 レビは一切のものを後に残して立ち上がり、イエスの後に従うようになった)

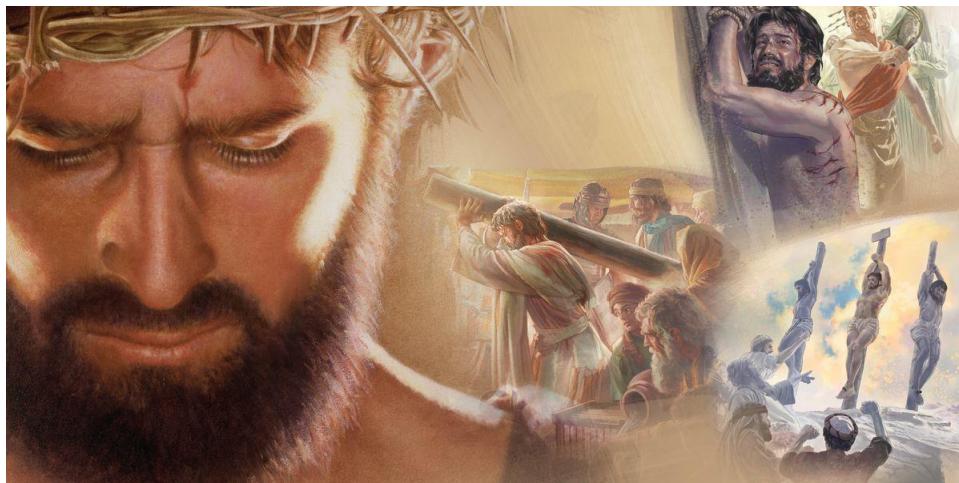
12. イエスは自分の死についてどんなことを教えましたか。

12 イエスは自分がどんなことを経験するかを知っていました。それで弟子たちに、自分が裏切られ、杭に掛けられて死ぬことを何度も伝えました。(マタ 17:22 ガリラヤに集まっていた時のこと、イエスは弟子たちに言った。「人の子は裏切られて人々に引き渡され、; 20:18, 19 さあ、私たちはエルサレムに上つていきます。人の子は祭司長と律法学者たちに引き渡され、死に値すると断罪されて19 異国の人々に引き渡されます。人の子はあざけられ、むち打たれ、杭に掛けられて死にます。そして3日目に生き返ります) イエスはバプテスマを施す人ヨハネや預言者たちが予告していた通り、自分の犠牲が人類の罪を取り去ることになるということを知っていました。さらにイエスは、命をなげうった後「あらゆる人を[自分のところ]に引き寄せ」るとも言いました。(ヨハ 12:32 私の方は、地面から上げられたなら、あらゆる人を私に引き寄せます) 罪を負った人類はイエスを主として受け入れ、イエスの手本に従うなら、エホバに喜んでいただけます。そして最終的に「罪から自由にされ」ます。(ロマ 6:14 罪を主人としては(*罪が主人とは)ならないのです。皆さんは律法の下にではなく惜しみない親切の下にいるからです、18 皆さんは罪から自由にされたので、正しいことの奴隸になったのです、22 しかし、今や皆さんは罪から自由にされて神の奴隸になったので、神聖な生き方という実を生み出しています。行き着く先は永遠の命です。ヨハ 8:32 真理を知り、真理によって自由になります) イエスはこうしたことを知っていたので、勇気を持って、痛みを伴う死を進んで受け入れました。(ヨハ 10:17, 18 父は私を愛してください。私が命をなげうつからです。それは私が再び命を受けるためです。18 誰かが私の命を奪うのではありません。私自らなげうつのです。私は命をなげうつ権限があり、再び受ける権限があります。この命令は父から受けました)

13. イエスはどのようにして死にましたか。そのことからエホバについてどんなことが分かりますか。(挿絵も参照。)

13 イエスは裏切られ、捕らえられ、ひどいことを言われ、中傷され、有罪とされ、拷問まで受けました。最後には兵士たちによって杭に掛けられ、処刑されました。イエスがこうした苦しみを忍耐している時、誰よりもつらい気持ちでいたのはエホバ神です。エホバは無限の力を持っていてもかかわらず、止めに入ることはしませんでした。エホバが大切な息子を助け出さなかったのはどうしてでしょうか。それは私たちを愛しているからです。イエスはこう言いました。「神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで永遠の命を受けられるようにしました」。(ヨハ 3:16 神は、自分の独り子を与

えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで永遠の命を受けられるようにしました)



エホバは私たちを罪と死から自由にするために、息子であるイエスが処刑されるのを許し、想像を絶する痛みを味わった。（13節を参照。）

14. イエスの犠牲からどんなことが分かりますか。

14 イエスの犠牲ほど、エホバがアダムとエバの子孫を愛していることを示すものはありません。それは、エホバがあなたのことを本当に愛している証拠でもあります。エホバは何としてでもあなたを罪と死から救いたいと思っています。そのために、大切な息子を犠牲にするという耐えがたい苦しみを味わったのです。（ヨハ一 4:9, 10 神は独り子を世に遣わし、その方によつて私たちが命を得られるようにしてくださいました。このことから、神が私たちを愛してくださっていることが明らかになりました。10 私たちが神を愛したというより、神が私たちを愛し、私たちの罪を償う（*私たちを神と和解させる）犠牲としてご自分の子を遣わしてくださったのです。これこそが愛です）エホバは確かに、私たち一人一人が罪と闘い、やがて完全に勝利を収めることを願っています。

15. イエスの贖いの犠牲から恩恵を受けるためには何をしなければなりませんか。

15 エホバは私たちの罪を許すために独り子の贖いという犠牲を進んで与えてくださいました。でも私たちがエホバに許してもらうためには、しなければならないことがあります。それは何でしょうか。バプテスマを施す人ヨハネもイエス・キリストもこう言いました。「悔い改めなさい。天の王国は近づいたからです」。（マタ 3:1, 2 さて、バプテストのヨハネがユダヤの荒野に来て伝道し、2 こう言った。「悔い改めなさい。天の王国は近づいたからです」；4:17 その時から、イエスは伝道を開始して、「悔い改めなさい。天の王国は近づいたからです」と言い始めた）罪と闘い、優しいお父さんエホバとの絆を深めたいと本当に思っているなら、悔い改めることが必要です。では、悔い改めにはどんなことが関係していますか。悔い改めることは私たちが罪と闘うためにどのように役立ちますか。次の記事で学びましょう。

どんなことを学びましたか

1. エホバは罪を負った人類にどのような希望を与える了吗。

- ・S04 エホバはアダムとエバの子孫の中に、ご自分を愛し、罪と闘うために助けを求める人たちが必ずいることを知って、**罪から自由になってご自分との絆を持つるようにするための道を開いてくれた。**
- ・S05 エホバがサタンに刑を宣告した時、人類に希望の光が差し込んだ。エホバは「**子孫**」と呼ばれる者が**希望の鍵**となることを予告し、この子孫が最終的にサタンを打ち碎き、エデンの出来事から始まった全ての悪いことをなくすことになっていた。

2. 律法の下で捧げられた動物の犠牲はどんなことを示していましたか。

- ・S08 そうした犠牲は、**人類を罪から完全に救うためにより優れた犠牲が必要であることを示していた。** 預言者たちは聖なる力に導かれて、**約束の子孫が苦しんで死ぬことになると説明し、後にその子孫は神の特別な子であることが明らかになった。** その神の子は犠牲にされる羊のように殺されることになりました。(イエス 53:7)

3. イエスは人類を救うために何をしましたか。

- ・S10 イエスは、**自分が犯した罪のことでつらい思いをしている人たちに特に注意を向け、弟子になるように勧めた。** 人類の苦しみの根本原因は**罪であることを知っていたから。** それで、**罪人として知られていた男性や女性を進んで助けた。** イエスは**罪がもたらした最悪の結果である死を取り除く力を神から与えられ、男性や女性、大人や子供などを復活させた。**
- ・S11 イエスは、**思いやりのある憐れみ深いエホバが人々を愛していて、罪と闘えるよう助けたいと願っていることを、言葉と行いによって示した。** そして、**罪深いことをしていた人も生き方を変えてイエスに従いたいと思えるように助けた。**
- ・S12 罪を負った人類は**イエスを主として受け入れ、イエスの手本に従うなら、エホバに喜んでいただいて、最終的に罪から自由にされる一ということを、イエスは知っていたので、勇気を持って、痛みを伴う死を進んで受け入れた。**
- ・S15 エホバは**私たちの罪を許すために独り子の贖いという犠牲を進んで与えてくださったが、私たちがエホバに許してもらうために、悔い改めることが必要**

18番の歌 賛いに感謝する

▲語句の説明: 聖書の中で「罪」という言葉は、エホバの道徳基準に沿わない生き方や行動をしてしまうこと、つまり、悪い行いを指すことがあります。また、アダムから受け継いだ不完全で罪深い状態を指すこともあります。私たちは皆、受け継いだ罪のせいで死にます。

▲エホバは、イエス・キリストが捧げることになっていた犠牲に基づいて、キリスト以前の時代の忠実な人たちの犠牲を受け入れることができました。イエスの犠牲によって罪と死から完全に解放されることが可能になりました。 (ローマ 3:25)

▲(ヨハネ 3:16) 神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで永遠の命を受けられるようにしました。